東京歯科大学市川総合病院広報誌

yorisou

TAKE FREE

2020年3月発行
Vol.17
よりそう

＼特集／
01
内科（血液内科）
血液の病気に特化した治療を行います

＼特集／
02
看護部
患者さんのためにできることを、ひとつずつ

く 知って納得＆安心、在宅医療！

ち 上手に医療を受けるために「かかりつけ医」を持ちましょう！

連携協定病院・医療連携登録医院の紹介

院内リレー紹介：専門看護師・医療安全管理者より、こんにちは

information

オモテのひと

DENTAL HYGiENiST'S TALK

ウラのひと

01 内科（血液内科）

血液の病気に特化した治療を行います

内科は、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科といった様々な分野に分かれています。そのなかでも「血液」を専門にしているのが血液内科です。血液内科の病気や治療方法についてお話を聞きました。

内科（血液内科）のおはなし

医師
松本 公宏

血液専門の内科って？

私たちの生命活動において、重要な役割を果たす血液。全身に張り巡らされた血管を通じて細胞や臓器に酸素や栄養分を運ぶだけでなく、健康診断ではわずかな量でも体内の異常や臓器の状態を知ることができるなど、多くの役割と情報を持っています。

その血液のなかには、酸素を運ぶ赤血球、体内に入った異物を退治するリンパ球や顆粒球を含む白血球、怪我をした際に血を止める役割を担う血小板といった細胞たちが存在しますが、それらに異常が生じることで引き起こされる病気があります。例えば、再生不良性貧血、特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの病気です。これら血液の病気を専門に診ているのが血液内科です。

血液もがんになるの？

がんは、細胞が分裂をする際に遺伝子が異常を起こすことで発生していきます。先ほど血液のなかには様々な細胞があるとお話しした通り、血液中の細胞が分裂する際に、がんになることがあるのです。

血液のがんで、多く発生するのが悪性リンパ腫です。発生率は年間10万人あたり10人程度で、比較的頻度の高いがんです。血液のなかの「リンパ球」ががん化してしまうことで、首や脇のリンパ節などにしこりのようなものが現れます。全身症状としては、発熱、体重減少などが現れてきます。この病気が疑われるときには病院で病理検査とPET検査を行い、病状のステージを判定します。

がんと聞くと治らない、こわいイメージがあるかもしれません。しかし、血液のがんの治療は主に薬剤で行いますが、それらの薬剤の開発は目覚ましく、日に日に効果の高いものが登場してきています。そのため、治療の成績も向上し、病気の初期で

あれば5年生存率は90%近くとなっています。以前に考えられていた治らない病気ではなく、治る病気になってきているのです。

ただし、よりよい治療を、より早く行うためにも早期発見が大切です。異変に気がついたら、早めに検査を行いましょう。

悪性リンパ腫の早期発見のポイント

- 首や脇の下、足のつけ根に痛みのないしこりが現れる
- 発熱、体重減少、ひどい寝汗

また、関節リウマチを持つ患者さんが服用している薬剤によって、リンパ腫を招く頻度が高いこともわかってきました。もし気になる症状があれば、かかりつけ医の先生に相談し、なるべく早く専門病院にかかってください。

白血病も血液内科？

芸能人やスポーツ選手が病名を公表したことが話題となった白血病も、血液内科が診る病気です。

白血病は、急性白血病と慢性白血病、小児の白血病など様々な分類がありますが、血液をつくる過程で必要な細胞ががん化してしまうことで発症します。急性白血病の場合、進行が速いため急激に症状が現れます。

急性骨髄性白血病の初期症状

- 息切れ、倦怠感、発熱
- あざ、斑点ができる
- 鼻血、歯ぐきからの出血
- 腰痛、関節痛、頭痛など

治療は、悪性リンパ腫と同じく薬剤治療が中心になりますが、まだ治療成績は多くの悪性リンパ腫ほど高くありません。今後、新薬の開発で劇的な治療成績の向上が期待されている分野でもあります。

新薬が、いままでの治療を変えていく

このように、血液内科の病気には様々な新薬が登場し、新しい治療が始まっています。このことは、いままで治療ができなかった患者さん、例えば高齢の患者さんにも、痛みをとるだけの緩和医療でなく、新薬を用いることで元の生活にできるだけ戻れるようになってきているということです。

日進月歩で研究・開発が進む薬剤もとりいれ、最適な投与法の研究を進めながら、「個々の患者さんに合わせた治療を提供する」という姿勢で診療を行っています。

内科（血液内科）DATA

■施設認定：
日本内科学会認定医制度教育病院、日本血液学会認定血液研修施設

■主な対象疾患（血液疾患）：
貧血、悪性リンパ腫、白血病、多発性骨髄腫、特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病など

02 看護部

患者さんのためにできることを、ひとつずつ

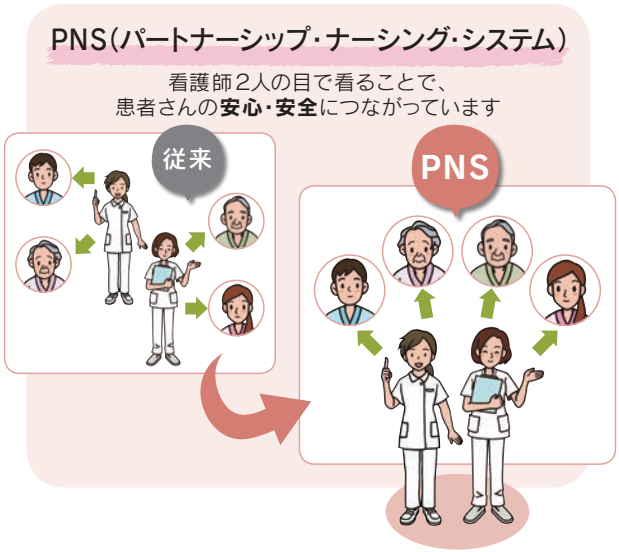
院内の看護師は、「看護部」という部門に所属しています。その看護部は、どのようなことを行っているのでしょうか。看護部長にお話を聞きました。

看護部って？

院内の各診療科外来や病棟、手術室、検査室、患者支援センター…など、院内の様々な場所で看護師は働いています。医師の診療の補助、手術や検査の介助、入院生活のお世話、退院後の生活指導など患者さんやご家族の皆さんにとって、一番身近な医療者ではないでしょうか。院内で働く職員のなかで最も人数が多く、あらゆる場所で働く看護師を束ね、まとめている組織が「看護部」です。当院が目指す方向性に沿って、看護師全員が向かうべき目標を定め、歩調を合わせて前進できるよう日々、教育・管理を行っています。

看護部の教育体制

当院では「根拠に基づいた質の高い看護実践」という技術的側面と、「患者さん一人ひとりの想いに寄り添う看護の提供」という個人やその人の想いを大切にする看護師の育成を目指した教育体制を整えています。そのなかのひとつとして、実務経験年数や能力に応じた達成目標を設定した「キャリアラダー」というステップアップシステムを導入しています。更に、ラダー段階に応じた集合研修を実施するとともに、2人の看護師がペアとなって患者さんに看護を提供するパートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）という看護方式により日々行う患者さんへの看護を通して現任教育が行われています。PNSでは先輩看護師と若手看護師がペアとなり、看護師2人の目と手で看（み）ることで、患者さんの安心・安全につなげられるよう取り組んで



看護部のおはなし

副病院長・看護部長
吉川 淳子

います。ベテランから新人へ、そしてキャリアラダーに沿って成長した新人が次のベテランになって看護の「こころ」と「技」は今日も伝えられています。

専門領域で活躍するスペシャリスト看護師

医療技術の進化に合わせ、看護分野においても専門分化が進んでいます。看護師資格取得後に大学院や認定機関へ進学し、専門看護師や認定看護師の資格を取得した看護師がスペシャリストとして当院でも多数活躍しています。専門看護師・認定看護師は、支援の必要な患者さんに、医師や病棟看護師からの依頼を受け、院内を組織横断的に活動しています。また、「緩和ケアチーム」「栄養サポートチーム」といった多職種で構成される院内チームのケアメンバーとしても活動しています。日々のケアを行う病棟看護師に対して、専門的な方策を指南することで患者さんの回復促進を間接的にバックアップしています。

また、急性期病院の治療を終えた後、住み慣れた地域でその人らしく生活するための「退院支援」を専門的に行う看護師もいます。1年間の院内研修や院外実習を経て、院内認定された看護師は、病棟では「在宅療養支援看護師」として、また患者支援センターでは「退院調整看護師」として、互いに連携し合いながら患者さんの退院後の生活を支えるお手伝いをしています。

専門看護師	
慢性疾患看護	1名
精神看護	1名
がん看護	2名

認定看護師			
感染管理	2名	小児救急看護	1名
皮膚・排泄ケア	1名	集中ケア	1名
がん性疼痛看護	1名	認知症看護	1名
がん化学療法看護	1名	脳卒中リハビリテーション看護	1名
緩和ケア	1名	摂食・嚥下障害看護	1名
救急看護	1名	手術看護	1名

2020.1月

医療者の仕事は「できてあたり前」と思われるからこそ

看護師だけでなく、患者さんのいのちをあずかる医療者の仕事は専門職者として、安全に、適切に「できてあたり前」と思われる仕事です。しかし、その「あたり前」を生み出すためには、日々の努力の積み重ねが必要です。看護師は交代制で患者さんの24時間を支える一番身近な医療者です。日々のかかわりのなかから患者さんの想いをくみとり、その想いを声にして医療者に代弁する役割も担っています。患者さんを看(み)つめ寄り添うためには、看護師としてだけでなく、ひとりの人間としての成長も大切です。看護部では、看護師一人ひとりの成長を支援し、活き活きと笑顔で働き続けられる環境づくりを進めていきます。

看護師の笑顔の先には、必ず笑顔の患者さんがいると信じて、これからも患者さんのために、看護部は看護する力を結集していけるよう全力で取り組んでいきます。

看護部の理念

看(み)つめあい
ふれあう心で
まもる生命(いのち)

在宅医療って？

通院が困難な患者さんや退院後に自宅療養をしている
患者さんを対象に、自宅に医療・介護スタッフが定期的に訪問し、
それぞれの専門的サービスを行います

住み慣れた場所でイキイキと！

知って納得&安心、在宅医療！

病院での療養生活より、自宅で治療や看護サービスを受けたいという要望が多く聞かれます。住み慣れた場所でのくらしを大切に考える「在宅医療」についてご案内します。

安心してくらし続けるために

歯科医師
（訪問歯科診療）

必要な歯科治療を行います。歯周病治療、入れ歯の調整や嚥下の評価などを行います。

歯科衛生士

歯科医師の指示のもと、患者さんの口腔ケアや口から食べることをサポートし、口臭や誤嚥性肺炎などを予防します。

薬剤師

医師の処方せんを調剤し、患者さん、ご家族に対して飲み方の指導を行います。

※必要なときには、ご自宅に届けることもできます。

ケアマネジャー
（介護支援専門員）

患者さん、ご家族と相談しながらケアプランを立てて、必要な介護サービスの調整を行います。

訪問介護師

ケアプランに基づいて、入浴、食事などの生活介護や必要なお手伝いをします。

地域包括ケアシステムと在宅医療・訪問介護

国の調査において、半数以上の人が「病気になっても自宅で療養したい」「住み慣れた場所で最後までくらしたい」と回答しています。しかし「自宅では十分な医療や介護が受けられないのではないか」「家族に負担がかかりすぎないか」といった不安も。このような問題を解決する仕組みが「地域包括ケアシステム」です。その一環として在宅医療や訪問介護サービスがあります。住み慣れた場所で、家族や地域の仲間とくらせるよう、各機関が連携しています。サービスの開始には手続きが必要です。担当のケアマネジャー、病院の看護師やソーシャルワーカー、かかりつけ医、訪問看護ステーションなどに相談ください。

専門スタッフがケアします

医師（訪問診療）

患者さんに合った治療プランを立て、必要な治療や検査、健康管理を行います。

訪問看護師

医師の指示のもと、健康状態の確認や医療処置、療養上のケアを行います。

リハビリ専門職

医師の指示のもと、ストレッチや機能回復運動などを行い、機能低下を改善します。

管理栄養士

医師の指示のもと、食事や栄養状態の観察を行い、必要に応じて食生活のアドバイスをします。

ご自宅で安心して療養できます

高齢社会は急ピッチで進み、在宅医療・訪問看護・訪問介護の需要はますます高まっています。市川総合病院でも入院治療が終了し、ご自宅で療養される患者さんが大勢いらっしゃいます。そのような患者さんがご自宅で安心して療養生活できるように、要望を聞き取り、お気持ちに寄り添ってよい方法を一緒に考えることが、大切だと考えています。

東京歯科大学では昨年6月に「東京歯科大学すがの訪問看護ステーション」を開所しました。市川総合病院や地域のかかりつけ医をはじめとする医療・介護・福祉の関係機関と連携し、利用者さんが自分らしく穏やかにくらし続けるためのお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

東京歯科大学
すがの訪問看護
ステーション所長
柴尾 裕加里 監修

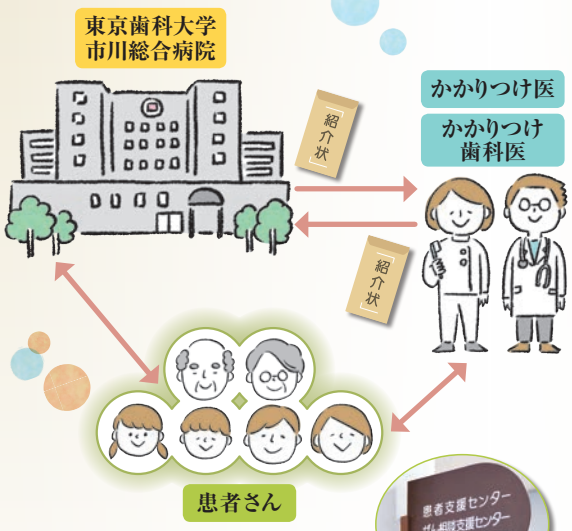
上手に医療を受けるために「かかりつけ医」を持ちましょう！

Vol.14～16では、病院や診療所といった医療機関には、それぞれの役割があることをご紹介してきました。また、それらの医療機関がスムーズに患者さんの情報を共有し、適切な医療を提供するために紹介状（診療情報提供書）が大きな役割を担っていることをお話ししました。

例えば、医師は患者さんが訴えている症状やからだの状態を診るとき、既往歴や現在服用中のおくすりなどとの関連性なども考えて診察をします。かかりつけ医からの紹介状には、診断に必要な患者さん個々の情報がたくさんつまっています。適切な医療を受けるためにはかかりつけ医からの紹介状はとても重要です。

そして、病院での治療が終わった際には、入院中の診断結果や治療経過などを細かく記載し、退院時にお渡ししています。退院後にかかりつけ医を受診するときにお持ちください。

まだ、かかりつけ医をお持ちでない方は、お気軽に「患者支援センター」までご相談ください。



かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つメリット

1. 普段の病状や病歴、健康状態などを把握しているので、もしものときに素早い対応をしてくれる。
2. 入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえる。
3. 大きな病院より待ち時間が比較的短く、じっくり診察してもらえる。
4. 重複した診療や初診時の選定療養費がなくなることにより、医療費を抑えることができる。
5. 食事面など、日常の健康管理のアドバイスをしてもらえる。

当院の登録医がわかる掲示板があります

かかりつけ医についての相談窓口

患者支援センター
（コンビニエンスストアの右横）
月曜日～金曜日 9：00～17：00
土曜日 9：00～13：00
（第2土曜は休診日）

■連携協定病院

医療法人社団 嵐川

大野中央病院

市総×病院

院長
長谷川 攻

〒272-0821
千葉県市川市下貝塚3-20-3
TEL：047-374-0011（代表）
http://ransen.or.jp/
※JR市川大野駅よりコミュニティバスあり

当院は市川市北部地域において、救急を含む急性期・回復期医療を担っています。この役割は地域の方々の急病に対して、診療所や介護施設との連携による医療を提供することであり、また基幹病院との連携のなかで、リハビリテーションを中心に、在宅退院に向けた治療をすることでもあります。昨年は、地域のニーズに合わせ、地域包括ケア病床を設置しました。今後も在宅や介護施設で療養される患者さんを支援するとともに基幹病院との連携をより強化できる体制を目指していきたいと考えております。

標榜科目
整形外科、内科、外科・消化器外科、腎・泌尿器科、循環器内科、脳神経外科、皮膚科、リハビリテーション科

病棟部門
一般病棟（131床）
地域包括ケア病床（16床）
回復期リハビリテーション病棟（50床）

その他部門
訪問診療、人工透析、リハビリテーション、通所リハビリテーション、健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

■医療連携登録医院

呼吸器内科・アレルギー科

大塚医院

市総×登録医科

院長
大塚 智博

〒272-0021
千葉県市川市八幡4-9-7
TEL：047-334-4549

先代から医院を引き継いでから、約30年。患者さんのなかには3代にわたって受診してくださる方もおり、ご一家の家庭医として、健康と成長を見守り続けています。治療では、患者さんがどのような治療を望まれているか、それぞれの思いに寄り添った対応をこころがけています。

また、患者さんを総合病院に紹介し入院したときなどは、お顔を見に病棟を訪問することもあります。ご自宅に戻られてからもずっと患者さんを診ていたい、人としてのつながりを大切にしたいと思いつつ診療をしています。

■医療連携登録医院

一般歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科・障がい者等の診療

あまがさ歯科クリニック

市総×登録歯科

院長
天笠 由貴

〒272-0111
千葉県市川市妙典5-5-22-101
TEL：047-701-1182

患者さんの要望をよく聞き、保険診療を中心とした負担の少ない治療法を選択するとともに「いま」だけでなく過去の治療の経緯や今後の患者さんの希望をお聞きし、なるべくそれに沿った治療法を選択します。一方、インプラントや親知らずの抜歯といった外科的な処置の必要がある場合は、無理をせず、設備の整っている連携病院に紹介しています。

患者さんと歯科治療の最初の窓口となる「かかりつけ医」として、お子さんから高齢の方まで地域の皆さんを支えていきます。

医療連携登録医：医科235件、歯科167件（2020.1.31現在）

専門看護師・医療安全管理者より、こんにちは

市川総合病院には、
専門の資格・知識・技術を活かして活躍する「リソースナース」がいます。
看護への熱意と知識あふれるお二人にお話を聞きました。

今回は「がん看護専門看護師」「医療安全管理者」を紹介します！

がん看護専門看護師
須田 有美

看護師となり病棟勤務をするなかで、がんのために栄養を摂取できない、痛みやせん妄に悩むといった患者さんに接し、よりよいケアのためには深く学ぶ必要性があると感じて専門看護師を取得しました。がん看護の専門知識を活かし、患者さんはもちろんご家族を含め、治療や療養生活の選択の悩み、これからの生活の悩みなど、様々な相談に対応しています。がんとなったつらさ・悲しみをともに受け止め、患者さんとご家族が安心して療養生活を送れるように悩みや迷いを一緒に解決していきます。

Q がん看護専門看護師って？

A がんによる身体的・精神的・社会経済的・スピリチュアル的なつらさを理解し、患者さんとそのご家族の視点に立ったケアを提供します

Q 医療安全管理者って？

A 病院の「医療の質」と「安全確保」のために、院内全体の安全管理を行う責任者です

医療安全管理者
木村 美保

病院は安全で適切な医療を提供する場所であり、医療事故や院内感染などから患者さんはもちろん、勤務する医療スタッフや事務職といった病院にかかわるすべての人を守る必要があります。そのため院内の安全が守られているかを確認する5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）ラウンドなど、医療安全を徹底するための活動をしています。患者さんに安心して受診してもらえる安全な病院であり続けるための私たちの活動には、患者さんの主体的なご協力も必要不可欠です。病院全体の医療の質向上に、ご理解をお願いします。

information

患者満足度調査結果を公開しています

当院では、患者さんの視点で医療を提供するために、毎年、患者満足度調査（入院患者・外来患者を対象としたアンケート）を実施しています。本年度も患者さんのご協力を頂き11月に実施しました。

アンケート結果は、院内掲示及びホームページで公開しています。

【院内掲示】

- 外来アンケート……外来ロビー
- 入院アンケート……東西病棟エレベーター前

【ホームページ】

トップページ ⇒ 当院について ⇒ 基本情報 ⇒ 臨床指標 ⇒ 患者満足度調査結果

外来アンケートの自由記載欄には、改善を希望するご意見を159件、感謝などのご意見を45件頂きました。とくに外来診療待ち時間について改善を望むご意見が多く寄せられました。

入院アンケートの自由記載欄には、改善を希望するご意見を96件、感謝などのご意見を136件頂きました。とくに、食事内容に関する意見が多く、また設備や入院環境へのご意見も頂きました。

調査結果は病院内の全部署で共有し、今後の医療の質の改善に活かしてまいります。今後ともご理解とご協力よろしくお願いいたします。

市民のための健康講座を開催しました

毎年、地域の方が元気で活き活き過ごせるように！と願いを込めて市民のための健康講座を開催しています。今年は「人生100年時代!! ～いつまでも快適に見える生活を～」をテーマに講演が行われました。

演者は、当院眼科・島崎潤医師、福井正樹医師、歯科・口腔外科・吉田佳史歯科医師、角膜センター・佐々木千秋移植コーディネーターが務めました。

白内障や角膜移植、身近なドライアイからドライマウスまで多岐にわたる内容で、会場の皆さんはメモをとりながら真剣に聴かれていました。2時間にわたる講演会でしたが、あっという間だったと言ってくださる方もいらっしゃいました。

また、来年も皆さんに楽しんで頂けるよう準備していきます。

▲会場の様子

オモテのひと

私たちは2019年6月に開所した「東京歯科大学すがの訪問看護ステーション」のスタッフです。地域の皆さんが、住み慣れた場所で自分らしく過ごすことができるよう、ご自宅での療養のお手伝いや、ご家族への支援を行っています。皆さんの思いに寄り添う看護を大切に。ご相談はお気軽にどうぞ。

相談窓口 TEL：047-706-6500（月～金 9:00～17:00）

デンタル ハイジニスト トーク

DENTAL HYGIENIST'S TALK

皆さん知っていますか？

嚥下（えんげ）体操

歯科衛生士 井口 祐子　歯科衛生士 直江 三善

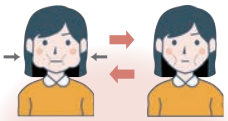
嚥下とは「飲み込み」のことで、嚥下はお口の周り、舌、首などの筋肉を使って食べ物や飲み物を喉の方へ送り込み、そこからまた食道まで送り込むといった、食べるための一連の動作のことを言います。この嚥下に使う筋肉をトレーニングすることを「嚥下体操」と言います。

嚥下体操を続けていくことで、食べるための筋肉がつくだけでなく、笑顔をつくることや、楽しくおしゃべりをする筋肉にもよい影響を与えます。

今回は、この嚥下体操を4つ紹介します。

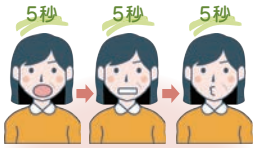
ご紹介した嚥下体操はほんの一例です。
患者さん一人ひとりの口腔機能に合わせた
トレーニングのメニューが提案されますので、
飲み込みでお悩みの方は
かかりつけ歯科医にご相談ください。

頬のトレーニング



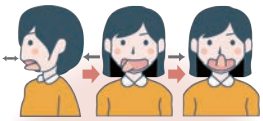
頬を膨らませ、手で頬を押します。空気が漏れないようにして、次に頬をへこませます。

くちびるのトレーニング



口を大きく開け、次に横に広げます。その後、口をすぼめます。それぞれを5秒間行います。

舌（ぜつ）のトレーニング



舌を前後、左右、上下にゆっくり、しっかり、力強く動かします。それができたらすばやく動かします。

頭部挙上トレーニング

仰向けで肩を動かさないようにし、足先を見るようにあごを胸に近づけながら後頭部を持ち上げます。5～30秒姿勢をキープします。

ウラのひと

医療情報システム管理課
宇田川 宣子　浜崎 里帆

私たち診療情報管理士は、皆さんの診療録（カルテ）の保管・管理そして診療記録の確認を行っています。また、患者さんがどのような状況で来院し、どのような診療を受けているかなどをカルテから読み取り、病名をコード化して疾病統計等に活用しています。これらのデータは匿名化された後、がん医療の的確な把握、がんにかかわる調査研究、がん医療の推進や対策などをするために活用され、地域医療の推進に役立てられています。

患者さんと直接お会いすることはありませんが、患者さんの大切な診療情報をこれからも適切に管理していきます。

◀全員で力を合わせて取り組みます

アクセスのご案内

JR総武線「市川駅」から、北口2番停留所より京成バス「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車
JR総武線「本八幡駅」から、北口1番停留所より京成バス「市川駅」行乗車、「市川総合病院」下車
京成線「市川真間駅」から、「市川真間駅」停留所より「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車

※ JR総武線「市川駅」からタクシーで約10分。1000円程度。
※病院駐車場の台数には限りがあり、入場までに1時間程度要する場合もございますので、ご来院の際はなるべく公共交通機関をご利用願います。

市川総合病院
〒272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13
TEL 047-322-0151（代表）
https://www.tdc.ac.jp/hospital/igh/index.html